

# 江別商工会議所 ななかまど通信

## 「認知症サポーター養成講座開催」のご案内

江別市では、「認知症の人を支え合う地域づくり」を目指して、認知症について正しい知識を持ち、認知症の方に対する理解や対応ができる「認知症サポーター」を養成しています。事業所の研修会、団体の総会など、皆様の集まる会場へ、講師を派遣することができます。また、コロナ禍においては、1名でも申し込みできます。ご希望の企業におかれましては、ぜひ、ご利用ください。

### ○受講で期待できること

#### ◆職員の対応力向上

・認知症サポーター養成講座の受講後は認知症の知識だけでなく、対応力が向上します。

#### ◆認知症サポーターのいる店、企業としての社会貢献

・認知症の人にやさしい店・企業は、地域のすべての人にやさしい店です。

#### ◆地域との連携体制の強化

・地域の関係機関とつながるチャンスです。

※詳細は、江別市ホームページの当事業ページをご確認ください。

○お問い合わせ・ 江別認知症オレンジの会事務局（野幌第一地域包括支援センター内）  
お申し込み先 TEL：381-2940 e-mail:nopporo-01@e-houkatsu.jp

## 日商景気観測調査 7月調査結果

### 業況DIは、持ち直しの動きも力強さ欠く

### 先行きは、変異株への警戒感から厳しい見方続く

日本商工会議所が発表した7月の全産業合計の業況DIは▲24.1と前月から2.6ポイントの改善。

米国・中国向けの需要が堅調な半導体・電子部品関連や自動車関連の製造業が牽引したほか、飲食料品・家電製品など巣ごもり消費に下支えされた小売業の業況感が改善した。一方、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に伴い、営業時間短縮などの活動制約が続く飲食業や観光関連のサービス業では、需要回復・業況改善が見通せず、厳しい状況が続く。また、卸売業を中心に食料品や鉄鋼などの原材料価格の上昇や、物流費のコスト増加の影響を指摘する声は多く、中小企業の景況感は持ち直しの動きがみられるものの、回復に力強さを欠く。

先行きについては、先行き見通しDIが▲27.2（今月比▲3.1ポイント）へ悪化。

高齢者を中心としたワクチン接種の進展により、経済活動の正常化に伴う需要の回復などに期待する声が聞かれる。一方、変異株による感染再拡大への警戒感が増す中、国・自治体からの活動制約要請の長期化に伴う受注・売上減少による業績悪化の継続や客足回復の遅れ、原油を含む資源・原材料価格の上昇などを要因とする採算悪化を懸念する企業は多く、先行きは依然として厳しい見方が続く。

ブロック別では、北海道地区が ▲21.2 と、前月から 8.6 ポイント改善。

◎製造業では、鉄鋼等の原材料価格上昇や世界的な半導体不足により、仕入単価が上昇したものの、好調な輸出に牽引された自動車関連が底堅く推移し、売上・採算ともに改善。また、小売業では、気温の上昇に伴い、スーパー等の小売店において、清涼飲料等をはじめとする夏物商材の引き合いが増加したほか、百貨店において、まん延防止等重点措置の解除や夏のセール実施等により、客足が回復し、売上が改善した。

※全国 336 商工会議所が 2,663 企業にヒアリングを実施